

令和元年度 三井病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	23	42	55	104	206	235	379	609	619	180

平成31年4月1日から令和2年3月31日までに退院した患者様について、人数を10歳刻みの年齢階級別に集計しています。全体退院患者数は2452名で、そのうち60歳以上が1787名、59歳以下が665名となっております。高齢化社会に伴い、前年度と同じく60歳以上の患者様が占める割合が7割を超えており、症状が比較的重症になりやすい高齢者の入院が多い傾向にあります。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

■ 乳腺腫瘍科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
090010XX01X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置	84	12.81	10.59	0.00	62.26	
090010XX02X0XX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）手術・処置等2 なし	12	6.75	6.23	0.00	51.50	
090010XX99X4XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 4あり	10	2.90	4.28	0.00	53.50	
090010XX97X0XX	乳房の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	-	-	6.52	-	-	
090020XX97XXXX	乳房の良性腫瘍 手術あり	-	-	4.02	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 乳腺疾患の代表である乳房の悪性腫瘍の患者さまを中心に、乳腺症や良性腫瘍などを含めた乳腺疾患全般の診断や治療を行っております。
 診断から手術前後の補助療法及び治療後の経過観察まで一貫して行っており、集学的治療についても納得がいくまで説明をさせていただきます。
 乳房腫瘍手術の入院ではクリニカルパスを用い、患者さまの不安軽減および短い期間で安全に安心して退院できるように努めております。
 遺伝子検査や遺伝子カウンセリングも行っており、患者さまにあったより良い対処法を選択する手助けをしております。
 甲状腺の良性・悪性疾患に対しても、診断や治療を積極的に行っております。

■ 消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用 パス
060160X001XXXX	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	32	4.53	4.96	0.00	65.90	
060335XX02000X	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	27	6.55	7.30	0.00	58.70	
060210XX99000X	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	25	9.28	8.95	0.00	64.80	
060102XX99XXXX	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	14	8.64	7.75	0.00	62.28	
060130XX99000X	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	13	6.07	7.40	0.00	72.07	

上下消化管、肝臓、胆膵の消化管疾患全般に幅広く対応しています。
 腹腔鏡下手術を積極的に採用し、手術に対する患者さまの負担をできるだけ小さくするように努めています。また、初期治療から術後フォロー

ーアップまでトータル的に治療を行っており、病状により患者さまの意思を尊重し手術ではなく保存治療も行っております。
 ※患者さまは中高年層と幅が広く、症状発生時の緊急手術にも対応しております。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
160800XX01XXXX	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	80	26.36	26.30	70.00	82.02	
160690XX99XX0X	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰部損傷を含む。） 手術なし 定義副傷病 なし	74	21.25	19.61	75.67	79.28	
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	48	23.64	24.26	2.08	73.58	
160760XX97XXXX	前腕の骨折 手術あり	42	3.97	5.68	2.38	64.72	
070400XX01XXXX	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	21	22.42	22.27	0.00	66.57	

高齢化社会を迎え、変形性関節症および様々な接骨が増加しています。
 関節疾患においては、人工股関節置換術と人工膝関節置換術を中心に診療を行っております。
 骨折に対しては、患者さまの病状に合わせ、手術または保存治療を行っております。
 術後早期よりリハビリテーションを開始し、早期退院、早期社会復帰が可能となるよう治療を進めております。また、地域連携クリニカルパスを使用し、切れ目のない医療とするべく、回復期リハビリ病院や療養型病院・施設等と連携を図り治療にあたっております。

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060100XX01XX0X	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 定義副傷病 なし	106	2.19	2.67	0.00	62.63	
030250XX991XXX	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・処置等 1 あり	94	2.00	2.04	0.00	51.70	
110310XX99XX0X	腎臓または尿路の感染症 手術なし 定義副傷病 なし	55	16.70	12.58	7.27	77.61	
040081XX99X00X	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	43	24.18	20.92	30.23	84.16	
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	31	5.16	5.10	0.00	67.41	

当院の内科は総合診療科（消化器、呼吸器、代謝内分泌、循環器など）で治療を行っております。
 内視鏡的ポリープ切除術が最も多く、内視鏡的治療に力を入れております。
 また、睡眠時無呼吸症候群の検査入院にも積極的に行っております。
 肺炎・誤嚥性肺炎、尿路感染症の患者も多く、平均年齢が75歳以上と高い傾向にあります。
 様々な肺炎や尿路感染症などに対し抗生物質による薬物療法を行っております。
 内科的治療にリハビリテーションを積極的に取り入れ、早期退院できるよう努めています。

■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
110080XX991X0X	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 定義副傷病 なし	44	2.02	2.53	0.00	72.50	
110070XX0200XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	27	6.55	7.20	0.00	58.70	
11022xxx04xxxx	男性生殖器疾患 包茎手術	14	2.07	3.82	0.00	13.07	
11012XXX020X0X	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1 なし 定義副傷病 なし	-	-	5.62	-	-	
11013XXX06XXXX	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	-	-	5.64	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 前立腺がんの疑いがある場合に行う前立腺針生検の検査入院が最も多く、早期発見に努めております。
 他にも膀胱悪性腫瘍や尿路結石症（腎結石・膀胱結石など）、包茎の治療を多く行っております。
 泌尿器の悪性腫瘍（前立腺がん、膀胱がん、腎盂がん等）に対しては、手術及びホルモン療法、化学療法を行っております。

■ 腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
090010XX99X4XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり	14	3.00	4.28	0.00	58.92	
090010XX99X8XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等	-	-	5.34	-	-	

	2 8あり						
040040XX9900XX	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	-	-	14.58	-	-	
070040XX99X4XX	骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。） 手術なし 手術・処置等 2 4あり	-	-	16.89	-	-	
090010XX99X6XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 6あり	-	-	4.15	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 当院では、様々な悪性腫瘍に対する化学療法を行っております。
 腫瘍内科は、がんに対する薬物療法を行う「抗がん剤治療」の専門診療科です。
 当院の化学療法は、外来通院が中心ですが、初回の化学療法や患者様の病態に合わせて入院加療も行います。
 抗がん剤治療には様々な副作用が伴いますが、適切な支持療法を行い、日常生活が支障なく送れるよう心がけています。

■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
010060X2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、 JCS10未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病 な し	18	21.38	16.18	61.11	76.05	
160100XX99X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	-	-	7.35	-	-	
010060X2990201	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、 JCS10未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病 な し	-	-	16.16	-	-	
010060X2990421	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、 JCS10未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病 2 あり	-	-	30.75	-	-	
010061XXXXX0XX	一過性脳虚血発作 手術・処置等 2 なし	-	-	6.24	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）では地域連携クリニカルパスを使用し、当院は急性期治療を担い、回復期を担う専門的リハビリ
 テーションが受けられる医療機関へ転院となります。病状や患者さま・ご家族さまの状況等により自宅や施設となる場合もございます。
 当院は、他医療機関との連携により、切れ目のないより良い医療となるよう努めています。

■ 小児外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
140590XX97XXXX	停留精巣 手術あり	-	-	3.14	-	-	
060160X101XXXX	鼠径ヘルニア（15歳未満） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	-	-	2.82	-	-	
060170XX02XXXX	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア 手術 腹壁癒着ヘルニア等	-	-	8.26	-	-	
11022XX02XXXX	男性生殖器疾患 陰嚢水腫手術等	-	-	4.73	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 当院では15歳未満の消化器外科の対象を小児外科として対応しております。
 患者さま（お子さま）とご家族に寄り添い、安心していただける温かく丁寧な診療に心がけております。

■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
020110XX97XXX0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片 眼	18	3.00	2.84	0.00	76.00	
020110XX97XXX1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両 眼	-	-	5.39	-	-	
020230XX97X0XX	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等 2 なし	-	-	3.15	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 当院では眼科の入院はほぼ白内障手術の患者さまです。
 外来でも日帰りで白内障手術を行っております。ご高齢の方や基礎疾患があり管理が必要な患者さまには入院での治療を勧めております。

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数 [ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	6	1	1	4	3	4	1	8
大腸癌	3	3	5	9	2	6	1	8
乳癌	32	66	8	2	15	7	1	8
肺癌	-	-	-	8	1	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	2	-	1	8

※ 1: UICC TNM分類, 2: 癌取り扱い規約

ステージ(Stage)とは、がんの深さや広がり、リンパ節転移の有無、他臓器への浸潤・転移の有無などによって決定されます。0～Ⅳに分類され、ステージⅣが最も進行した病期分類となります。

退院までに検査結果が明らかでないものは「不明」件数に含まれています。
当院では乳癌は5大癌において患者数が最も多く、ステージⅠ～Ⅱに集中しております。
手術だけではなく抗がん剤治療など患者さまに合わせた治療法を選択し総合的に管理しております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	81	16.87	75.92
重症	34	21.76	85.85
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

患者数が10未満の数値には「-」としています。
市中肺炎とは、病院外で日常生活をしていた人に発生した肺炎。
重症度分類にはA-DROPが用いられております。スコア0軽症、スコア1～2中程度、スコア3重症、4～5超重症。

重症度の低い患者さまであっても、先天性疾患があったり、癌の既往があったりして重症化を危惧され入院となるケースがあります。
軽症の患者さまも積極的に受け入れています。

脳梗塞の患者数等 [ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	50	17.68	78.17	23.33
その他	14	12.50	74.64	21.42

救急で搬送される患者様も多く、常に受け入れることが出来るように体制の確保に努めております。
地域連携クリニカルバスを使用し、回復期リハビリ病院、療養型病院、介護施設等と連携し総合的な治療管理を行っております。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） [ファイルをダウンロード](#)

■ 乳腺腫瘍科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	44	1.95	11.27	0.00	62.02	
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	29	1.93	7.24	0.00	62.86	
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	12	1.41	4.33	0.00	51.50	
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	10	1.80	11.90	0.00	62.00	
K4742	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
乳癌の病態、進展度、腫瘍径などにより、乳房の温存、腋窩リンパ節郭清の省略を図る各種の術式を行っております。
大きな腫瘍に対して腫瘍の縮小を目的に術前に化学療法を行い、乳房を温存する治療も行っております。
同時乳房再建も年々増えており、二期再建も行っております。
患者様の病態やニーズに合わせ、複数の選択肢の中から最も適した治療法を提案しております。
また、甲状腺関連の手術も行っております。

■ 消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	36	1.66	5.58	2.77	60.00	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	31	1.06	2.51	0.00	66.58	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	11	6.81	20.36	0.00	69.36	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	-	-	-	-	-	

腹腔鏡を用いた手術が上位を占めており、開腹で行う手術と比べ、傷が小さく患者さまの負担も少ないため早期退院が可能で、早期の社会復帰が見込まれます。
悪性・良性にかかわらず腫瘍性疾患に対して、腹腔鏡を用いた低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。
鼠径ヘルニアや胆嚢摘出術等はクリニカルパスを用い、治療の過程を明確にして、安全で合理的な医療の提供を行えるように努めております。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（股・膝・肩）	68	1.36	20.98	2.94	71.07	
K0461	骨折観血的手術（大腿骨・上腕骨・肩甲骨）	60	4.06	17.45	46.66	80.20	
K0462	骨折観血的手術（下腿）（前腕）	44	1.95	5.75	4.54	63.09	
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術（下腿）（前腕）	38	0.97	1.18	0.00	60.52	
K0811	人工骨頭挿入術（股・肩）	37	5.08	21.02	75.67	82.29	

患者数は、1回の入院で複数（両側等）の手術を行った場合は、主の手術1つのみカウントされています。
1位：関節の変形が原因の変形性股関節症・膝関節症に対し、人工関節置換術を多く行っています。
2・3位：骨折観血的手術後には骨折治癒を促進する超音波骨折治療法を積極的に行っております。
5位：大腿骨頸部骨折に対し、人工骨頭挿入術（股）を行っております。
上記手術に対し、骨折や変形の具合により、自家骨移植や人工骨移植を行っております。
術後には、早期リハビリテーションを実施し、1日も早い回復が望めるよう理学療法士をはじめ、医師・看護師と連携をとり、チーム医療を行っております。
長期のリハビリが必要とされる場合は、回復期リハビリ病院や療養型病院等へ転院されております。

■ 内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	98	0.03	1.15	0.00	62.96	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	22	12.00	18.54	77.27	80.81	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	12	5.00	6.50	8.33	75.50	
K6871	内視鏡的乳頭拡張術	11	3.27	5.27	18.18	80.27	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
大腸腺腫や大腸ポリープに対する内視鏡的手術を多く行っております。
内視鏡的手術では、早期胃がんの腫瘍切除および胆道疾患における結石の除去・ステント留置など多くの症例を行っております。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K80360	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	34	1.17	4.29	0.00	70.79	
K8282	包茎手術（環状切除術）	14	0.00	1.07	0.00	13.07	
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	11	0.00	2.00	0.00	61.72	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	
K7981	膀胱異物摘出術（経尿道的手術）	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
経尿道的膀胱悪性腫瘍手術は、早期に発見された浸潤性でない膀胱がんに対して行います。クリニカルパスを使用し、ほとんどの患者さまが3日以内に退院しております。
経尿道的手術は尿道から内視鏡を挿入して手術する方法で、開腹による手術に比べ患者さまの身体への負担が少ない治療法です。
包茎手術は、小児から成人まで多くの手術を行っております。殆どの患者さまが2日以内に退院しております。

■小児外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠径ヘルニア手術	-	-	-	-	-	
K836	停留精巣固定術	-	-	-	-	-	
K6333	臍ヘルニア手術	-	-	-	-	-	
K8351	陰嚢水腫手術（交通性陰嚢水腫手術）	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 当院では、15歳未満の消化器外科対象の症例を小児外科として対応しております。
 小児ヘルニアの手術はクリニカルパスを使用し、2日以内に退院しております。
 お子さまとご家族に寄り添い、安心していただける温かく丁寧な診療を心がけております。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 経口摂取が不十分な場合、あるいは誤嚥性肺炎の危惧される場合等、栄養剤等を直接胃に投与するため、腹壁から胃内に到達する経路を造設します。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K28210	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	22	1.00	1.00	0.00	77.45	
K2191	眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 眼科では、白内障手術(水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合))が最も多い結果となっております。
 白内障は主に加齢により眼内のレンズ（水晶体）が混濁する病気です。
 短期間の入院で、片側ずつ手術を実施しております。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

患者数が10未満の数値には「-」としています。
 重篤な疾患である播種性血管内凝固症候群(DIC)、敗血症、その他の真菌症感染について、発生率を集計しています。
 これらは重篤な主疾患の合併症として発症しているケースが多いため、臨床ゼロにはなりえないものですが、
 起こり得る合併症については、事前に可能な限りに患者様に説明した上で同意をいただき、発症が最小限になるように努めております。

更新履歴

2020.9.30 2019年度病院指標を公開しました。